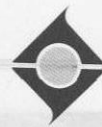


# — 広報 — なまじん

毎月1日発行



村章

# 2

1992  
No.195

### ●今帰仁村の人口

平成3年12月31日現在  
男4,779人(-7) 女4,839人(-2)  
世帯数3,089(-5)  
村の人口9,618人(-9)



## 第14回 新春ロードレース 走り初めでさわやかな汗

恒例の「第十四回新春ロードレース」(村体育協会主催)が一月二日午前十時から総合運動公園をスタートおよびゴール地点として開催されました。大会は健康づくりと競技人口拡大、参加者の交流を目的とするもの。

今年から完走者全員に記録証が交付されることになり、二百五十二人が出場。曇り空を吹きとばすほどの熱気に包まれました。なかには豊見城村、那覇市西原町、北中城、名護市などからの参加者もあり、例年にならない盛り上がりを見せました。

今回初めて参加した仲間エリサさん(今帰仁小三年)は開会式の直後、六位が目標ですと話していたが、見事六位でゴールイン。「来年は一位をめざします」とにっこり。

また、松興希くん(今帰仁小三年)は「優勝できてうれしい。これから勉強もがんばります」と勝利の喜びを語りました。

なお、大会の上位入賞者には表彰状とメダル(小学生)、盾(中学生・一般)が贈られました。

# 北山高校「理数科」四月よりスタート

## 厳しい大学受験に対応

### 21世紀のリーダー育成に期待!

県立北山高校(新垣清校長)に新しく理数科がこの四月から新設されることになり、学力向上に取り組んでいる村民は大きな期待を寄せている。

上間博安村長は、理数科設置について「魅力ある学科の新設で学校が活性化すると考えています。高い目標に児童

生徒がチャレンジし、二十一世紀のリーダーに育ってほしい」と語る。

理数科は、開邦高校、球陽高校、宮古高校ですすでにスタートしている。北

部地区でも理数科設置への期待は大きく北山高校には問い合せ

かが相次いでいる。

新垣校長は「教育の機会均等や

次代を担う人材育成の観点から

も価値がある。

既設の理数科設置校に引けを取

らない理数科にしたい」と話す。

理数科設置により、同校の学科編成は、理数科が二学級定員八十人、普通科が二学級定員九十人となる。理数科の概要を次に説明します。

#### ☆理数科の教育内容

国立大学への進学に有利。

(1)理数科は普通科にくらべ五教科(英語、数学、国語、理科社会)の総授業数を増やしている。国公立大学の進学のための大学入試センター試験や二次試験の学習に対応する。

(2)生徒や父母のニーズに応えるため理数科の生徒全員に早期講座(午前七時三〇分開始)と放課後講座を行う。

(3)夏休みも二〇日間の日程で理数科全生徒対象の講座(一、二年生は英語、数学、国語。三年生は五教科)を行う。

#### ☆理数科の通学区域

国頭教育事務所の所管区域(金武町、宜野座村と名護市の

久辺、久志中学校区域は除く) ☆理数科の推薦制度

開邦、球陽高校と同じく学区内の各中学から一人とする。募集定員は学科定員の二〇%(二六名)程度とする。

#### ☆理数科の出願

今帰仁村内の中学校の生徒で第一希望を理数科とする生徒は第二希望を普通科とすることができ。

#### ☆施設と設備

校舎は新年度に新築する。特別教室、理科教室(物理、化学、生物、地学)、音楽、美術、家庭科、社会科、数学

演習、LL、器楽演習各教室など。 ☆生徒の学寮

現在二人一部屋で五〇人収容可能な寮があり、その寮を住みこちのよいように改修し、普通科及び理数科の希望者を入寮させる。

理数科設置により、小・中高一体となって児童、生徒の進路指導が可能となり、学力向上にも好結果が期待される。新垣校長は「北山高校に念願の理数科がスタートするので、多くの中学生が志願して欲しい。学校では職員一同、心から歓迎いたします」と話す。

### 育英資金をお貸しします

お申込みは09月1日(金)迄

今帰仁村育英会(上間博安会長)では次のとおり、高校専門学校生、大学生を対象に育英資金借入れ希望の方を募っています。

#### ◆貸付金額

高校 生……一万円以内  
県内大学生・専門学校生……一万五千円以内  
県外大学生……二万円以内

#### ◆貸付対象

今帰仁村に住所のある方の子弟で高校、専門学校、大学に進学または在学している方。

#### ◆申請期間

三月一日～三月三十一日。

☆手続きの詳しい方法は学校教育課育英係までご連絡をお願いします。電話番号は五六二二六四五です。

新北山高誕生だ。ホップノステップノジャンプノ



# 喫満自然の帰に今 沖繩ピアセント 歩け歩け大会



おいで開催された。これは「ころにもからだにもあたたかい出会い」のテーマで行われたもので、百二十、を五日間かけ歩いた。大会には北海道、東北、関西を中心に過去最高の二百五十人が参加した。

第四回セントピア沖繩マーチ「歩け歩け大会」が、十二月四日午前九時、国頭村辺土岬をスタート、八日、沖繩総合運動公園ゴールのコースに

今帰仁コースは七日正午、今泊をスタートし、福木並木やさとうきび畑を通り仲尾次構造改善センターへ。ポラントピアの皆さんが準備したサ

ーターアングターに舌鼓をうちフタオチョウの生息地、乙羽岳へと歩を進めた。頂上に着くと、伝説の島古宇利や羽地内海、伊是名島、伊平屋島を見渡す豊かな緑と美しい海に参加者からは「沖繩一の眺めだ」と感激の言葉がもれた。岡山県倉敷市の内藤及也さんは「海のいろは瀬戸内海と違い珊瑚礁に彩られ不思議な青さで感激しました」と話した。埼玉県鳩山町の井手栄子さんも「すばらしい海と人々の温かい心配りが嬉しい。友達を誘って来年もまた参加します」と語った。

## 兼次・仲尾次の区長さんかわる 越地・謝名の

今年の一月一日付けで村内の四字で区長の交替がありました。

前任の区長の皆さま大変ご苦勞様でした。前区長さん同様に、新しい区長さんに村民の皆さまのご協力をお願いいたします。

兼次―玉城光正さんから比嘉龍彦さん(兼次一〇〇、電話五六一四七六四)。仲尾次―田場盛善さんから山城安永さん(仲尾次二二二、電話五六一四八四八)。越地―玉城信雄さんから宮里政勝さん(越地三五二、電話五六一一二一九)。謝名―平田喜直さんから国吉清重さん(謝名一四八、電話



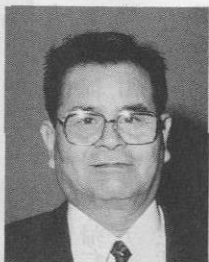
兼次区長 比嘉龍彦さん



謝名区長 国吉清重さん



越地区長 宮里政勝さん



仲尾次区長 山城安永さん

## 村課長会農業研修団 列車事故で三氏逝去

昨年十一月十五日、今帰仁村役場課長会の農業視察研修の途中での列車事故に際し、多くの方々のお見舞と心あたたまる励ましを賜り誠にありがとうございました。心より厚く御礼を申し上げます。

通り職務に復帰することができました。列車事故で村内外の多くの方々にご心配とご迷惑をおかけし、誠に申し訳ございませんでした。心からお詫び申し上げます。亡くなった職員は、水道課長渡嘉敷広栄氏(享年五十四歳)、農業委員会事務局長伊良波幸雄氏(享年五十歳)、社会教育課長島袋満氏(享年四十歳)。三氏は長年にわたり村行政発展に多大な貢献をされました。三氏の生前の御功績をたたえらるとともに、謹んで御冥福をお祈りいたします。

この度の事故で三名の職員の尊い命を失い、精神的に大きなショックを受けている状態ですが、今後、私達が村行政発展のため、これまで以上に職務遂行に励むことが亡くなった職員への供養であり私達の責務と考えております。今後のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。重軽傷を負った職員は傷もほとんど癒え、ほぼ平常

今帰仁村長  
上間博安

## 村軟式庭球選手権大会

二月十六日午前九時三〇分 北山高校  
お申し込みは村体協 五六一一二〇一(内線24まで)

### 第3回 歴史資料館準備室企画展

## 今帰仁の自然

# 広く紹介

## 山・川・海をとおし 今帰仁の自然を認識

一月十八日、十九日の両日  
今帰仁村コミュニティセンター

で「今帰仁の自然」をテーマとした第三回歴史資料館準備室の企画展が開催された。

十八日午後一時半から開会式が行われ、テープカットのあと主催者を代表して西島一將教育長のあいさつ、続いて歴史資料館設立審議委員会の山

内昌藤委員長があいさつにたった。

今帰仁の山・川

・海を通して、ムラに住む私たちの自然環境を考えてみようとするねらいで企画された展示会であった。両日とも天気恵まれ、資料の多さと内容豊かな展示のために参観者の出足もよかった。

中央部には「自然の恵」コーナー

が設置され、シータワーサーヤタン

カン、サトウキビ、葉草・ウツチン、木の実、さらにシイの木やセンタンなどで作った動物のパスルやイモリなどが展示され、そのコーナーは食べたり触れたり、子供たちの人気的一になった。

第I部では、「今帰仁の自然」を山・川・海をテーマにムラに住む私たちの生活との関わりを展示してあった。身近な草花やチョウウから入り、そして山へと。



「自然の恵」コーナーで

今帰仁の山の遠景、近景などをとらえ、乙羽岳や尾山（バサンチヂ）などのイタジイの林や、そこに生息するフタオチョウウやコノハチョウウなどの展示がなされていた。

川は今帰仁の代表的な志慶真川と大井川を中心に、志慶真川は上流からくだり、大井川はさかのぼり、川の果たす役割について考えてみようとするねらいでの展示であった。

今帰仁の海は、やはり山や川と切り離すことのできない生態系の一つとして位置づけられ、海地名や海岸地名、塩田跡・マンクローブなどが取り上げられていた。

第II部は北山高校の生物クラブ（安座間安史教諭）の調査を基に今帰仁の森と林を中心として乙羽岳周辺の植物や動物（チョウウ類）などの標本展示がなされた。今帰仁村の「石灰岩地林」と「非石灰岩地帯」の二つのタイプの森林が紹介された。

第III部は、「今帰仁の原風景」をハッキン氏提供のカラー・スライド写真を展示し、一



ムラの展示を興味深くみいる

九五〇年代の今帰仁の風景や人々、生業を中心とした展示がなされた。

企画展に来た方々の声が二、三拾ってみると「たいへん感動しました。今帰仁は、他の市町村にくらべて極めて文化、歴史、自然に恵まれてるのが最大の特徴です。今帰仁の自然を大切にしていただきたい」。『今帰仁の自然と暮らしがわかりやすく展示され、素晴らしかった。今帰仁の自然と暮らしを守りつつ、発展していけるように考えるきっかけになった』。また「大井川や開発の問題についてもっと扱って欲しい」などの声も聞かれた。



# 雪だー、冷たあ〜い

## ふれあひ少年の翼

### 雪国の体験で 大きく成長

「第二回ふれあひ少年の翼」(三輪茂徳団長)は、十二月十三日から二十七日の期間、児童、生徒四十二名と引率の十名が参加して、山形と東京で実施された。



▲リフトに乗るのちょっぴりこわいな(湯殿山で)



▲スリル満点のソリ遊びは参加者に大好評



▲北前太鼓で歓迎する広野小学校の皆さん



▶安里屋ユンタで楽しく交流  
▶山居倉庫で米の歴史を学ぶ



▶白鳥飛来地でハイポーズ！  
▶友情カードを渡し再会を誓う



一行は、夜も明けぬ午前六時に今帰仁を出発、午後五時に最初の宿の羽黒国民休暇村に到着。残念ながら第一回目のような見渡すかぎりの雪景色は見られなかったが、それでもあまり多くはない雪を見ては、「雪だー」「冷たあ〜い」とはしゃぐ声があちらこちらから聞かれた。

翌日、雪が少ないのでスキーを取りやめ、湯殿山スキー場でソリ遊びをすることになった。初めてリフトに乗り、三百メートルほど山手に行き二人一組になりソリ遊びに興じた。五十メートルの距離を一気に滑り降りるのはスリル満点。なかにはひっくり返る人もおり、悲鳴をあげながらも楽しんでた。

三日目の午前は、酒田市内を観光。松尾芭蕉の短歌で有名な最上川の「白鳥飛来地」日本初の写真美術館の「土門拳記念館」、米博物館のある「山居倉庫」、日本海を見下ろす絶景の桜の名所「日和山公園」と名所を見てまわった。

午後からは、酒田市立広野小学校五・六生年六十三人と交流会。「北前太鼓」と「広小太鼓」の力強い見事バチさばきに皆感動を覚えた。少年の翼一行はお礼に「エイサー」と「安里屋ユンタ」を披露。

研修を通して、参加者は生活文化の違いや寒さを体験した。これから、この体験を活かし

学校や地域で、きっと良きリーダーに成長していくことでしょう。

▶希望に胸膨らむ新成人



# 1992年 成人式

## 輝いて二十歳 あでやかに華やかに



二十一世紀を担う若人の門出を祝い励まそうと今帰仁村成人式が一月四日コミュニティセンターで催された。どの顔も希望に輝いて、会場は熱気と華やかな雰囲気包まれた。

午後一時三十分から行われた式には百三十三人が出席。村歌の斉唱のあと祝辞を述べた上間博安村長は、「きようから自らの責任を自覚

する大人として、豊かな教養と健全な精神を合わせもつ文化人を目指し、努力していただきたい」と激励した。続いて西島一将教育長のあいさつ、来賓の山城正議長、大城秀昭県議会議員らが祝辞を述べた。

これに答え、成人者を代表して嘉陽千歳さん（湧川一七七一）は「皆さまのお言葉を決して無にすることなく、一人ひとりがそれを心に刻み、

これからの人生を歩んでいきます」と謝辞を述べた。その後、全国高校野球夏の大会二年連続優勝に輝いた沖縄水産高校の裁弘義監督が「私と高校野球」と題し記念講演。講演で裁監督は「本ものを認識する目を養い、人のもっているいいものを無条件で受け入れ尊敬する柔軟な心をもつよう心がけてほしい」と語り、出席者に深い感銘を与えた。

成人式を迎えた皆さんが目標をもち、国際的な感覚を身につけ着実に歩んでいってほしいものです。



▲成人者代表で謝辞を述べる嘉陽千歳さん

▲情熱をかたむけて講演する裁沖水野球部監督



▲深い感銘をうけた講演者裁監督と記念撮影  
▼希望を胸に新しい出発(たびだち)がいま始まる



▲振り袖姿もあてやかな「今帰仁ウカミ」

# 戦後、間もない頃の生活

戦前、あるいは戦後間もない頃の生活を、よく話として聞かされることがある。ここでは、戦後間もない頃の生活を三枚の写真を手がかりにみていくことにする。

今回紹介する三枚は、メルビン・ハッキンス氏のアルバムから提供していただいたモノクロ（白黒、二五〇枚以上ある）写真の中の三枚である。年代が明記されていないため、はっきりしないが一九五〇年代かと思われる。戦災で、ほとんど家が焼



▲ある民家の台所（トウングワ）



▲苗代に種籾をまく故仲宗根孫吉さん



▲斧（ウーヌ）で木を削る老人

き払われ、疎開先や収容所からムラに帰ってきた。自分の住む家のない人々は、仮住まいの家を建てた。茅葺き屋根の自分の家に住めるようになり、次第に落ち着きを取り戻していった。材木やカヤなどの準備ができると隣近所の人たちが協力しあつて家を葺いていった。茅葺きは、台風にあうと壁や屋根が吹き飛ばされ崩壊することもあった。

そのような茅葺きの家の中には、土間に直接台所（トウングワ）があつた。カマドの前で焚きつけをしている老婆の写真は、一九五〇年代である。戦前、あるいは戦後間もない頃まで、一般的にはこのような台所であつた。石を積み、土で塗り固めたカマドにはご飯を炊くところ、おつゆやおかず、そしてシンメーナビーを置き豚のエサやイモなどを煮る三つのカマドがある。火をおこすのに松の葉や木の枯れ葉（アクタ）やサトウキビの絞りカスなどで、焚きつけは山や森などでとってくる薪であつた。

戦争の痛手から、十分立ち直っていない時代の食卓は、イモが主であつた。白米がしだいに食べられるようになっていくが、三食をまかなうだけの水田面積を持っている家は少なかった。田を持つているにしろ、正月やお盆、あるいは特別な日でないといご飯を口にするには少なかつた。白いご飯が毎日食べられることを、夢みる時代であつた。

今泊の県道沿いのナースタ（苗代）で、ソーキに籾（ぬか）を入れ、種まきをしているのは仲宗根孫吉さん（故人）である。一九五三年の二月頃かと思われる。頭にタオルをかぶりズボンをまくり、素足で種をまく姿は、当時ではよく見かける風景であつた。田を耕すのにクワを用い、馬や牛にユジエーをひかしている風景がよみがえってくる。

三枚目の写真は、斧（ウーヌ）で材木の不必要な所を削つたり、生皮を剥いたりしている所である。丸太を角材にする製材所があつたとみえ、二面はまっすぐ製材されている。縦縞模様（チン）を来た老人の斧を打つ音が響き、木の香りが今にも漂ってきそうである。このような場面は、戦前、戦後間もない頃までよく見られた。

これらの三枚の写真をみると、戦前、あるいは戦後間もない頃の生活が彷彿してくる。そのような時代を知らない戦後生まれの私たちにとって貴重な場面である。言葉や話で聞くこともあるが、このように写真で視覚的に見ることができるとは、ある時代の時と場所の「コマ」の場面に過ぎないが、当時の台所、水田、そして木を削っている場面をより具体的にとらえさせてくれる。それは、写真が歴史史料としての特性を端的に示すものである。

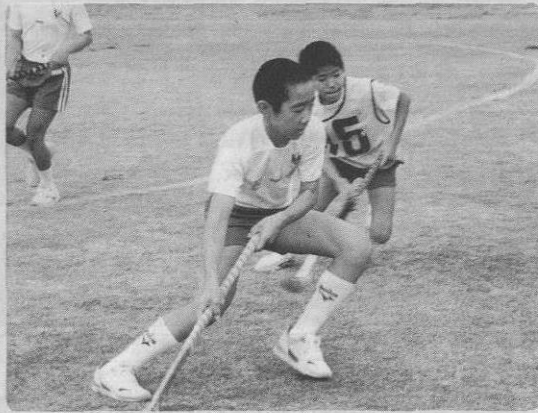
仲原 弘哲

（歴史資料館準備室）



# 兼次小 {女子4年 男子3年} 連続優勝

## 今帰仁村ホッケー大会



競技人口の拡大と技術の向上、それに健康づくりを旨指そうという「第八回今帰仁村ホッケー大会」が、十二月二十六日午前九時から総合運動公園ホッケー場で開かれた。

大会には、小学校男子九チーム女子五チームが出場し技を競った。その結果、男子は兼次小六年生Aが、準決勝で今帰仁小Aを二対一、決勝で天底小Aを同じく二対一と下し、辛くも優勝。女子は兼次小六年生が天底小を八対〇の大差で破り優勝した。

兼次小学校は、この大会において女子が四年連続、男子が三年連続優勝の偉業を達成し、選手、監督、家族、応援団は喜びに沸き返っていた。

# 今帰仁村職員採用候補者試験募集公告

- (1) 職 種 / 一般事務職、保母・幼稚園職
- (2) 受験資格
  1. 高校卒業以上の者または同等以上の学力を有する方。
  2. 年 齢 平成4年3月1日現在 28才以下の方。
- (3) 提出書類
 

1. 採用試験申込書	1	通
2. 自筆履歴書 (横書写真貼付のこと)	1	通
- (4) 試験期日、場所
  1. 期 日：平成4年2月23日(日)午前9時
  2. 場 所：今帰仁村商工会館
- (5) 応募受付及び締め切り期間
 

平成4年2月10日(月)~18日(火)の午前9時~午後4時  
但し土曜日の午後、日曜日は休みです。
- (6) 試験科目
  1. 一 般 職 / 一般教養(2科目)作文・面接
  2. 保母・幼稚園職 / 一般教養(2科目)作文・面接
- (7) 結果通知
 

試験結果調書の報告を受けて、職員採用候補者名簿に登載後本人に通知する。

※詳しくは、村役場総務課総務係 (電話56-2101) までお問い合わせ下さい。

## 国民年金 コーナー

# 国民年金の給付と種類

No. 3

**今** 回は、国民年金の給付について説明しましょう。

国民年金の給付には、老齢基礎年金、障害基礎年金、遺族基礎年金の三種類があります。

**老** 齢基礎年金は、保険料を納めた期間と、免除を受けた期間とを合わせて二十五年以上ある人に六十五歳から支給されます。年金額(平成三年度)は七十万二千円ですが、希望によって六十歳から繰上げて年金をうけることができます。しかし、この場合、年金は減額され、その年金額を一生うけることとなります。

逆に六十六歳に達した後に繰上げて請求した場合、増額された年金をうけることとなります。

**遺** 族基礎年金は、国民年金に加入している人が死亡したときに、その人に扶養されていた妻や子に支給されます。支給要件として、(一)死亡した人の保険料を納めた期間(免除期間を含む)が加入期間の三分の二以上あること。

**障** 害基礎年金は、国民年金に加入している期間中に、かかった病気や怪我がもとで、障害者になったときに支給されます。支給条件として、(一)初診日前の加入期間のうち、保険料を納めた期間(免除期間も含む)が加入期間の三分の二以上あること。(二)障害認定

日に政令で定めている一級または二級障害の状態になっていること。年金額(平成三年度)は一級八十七万七千五百円、二級七十万二千円。さらに、十八歳未満の子を扶養している場合：第二子まで一人につき二十万二千四百円、第三子から一人につき六万七千五百円が加算されます。

加算額となり、(一)死亡した人に老齢基礎年金が受けられる資格期間があること。年金額は、子のある妻の場合：妻に七十万二千円、第一子・第二子には一人につき二十万二千四百円、第三子からは一人につき六万七千五百円。子のみの場合：第一子七十万二千円、第二子・第三子からは子のある妻と同様の加算額となります。

加算額となり、(一)死亡した人に老齢基礎年金が受けられる資格期間があること。年金額は、子のある妻の場合：妻に七十万二千円、第一子・第二子には一人につき二十万二千四百円、第三子からは一人につき六万七千五百円。子のみの場合：第一子七十万二千円、第二子・第三子からは子のある妻と同様の加算額となります。

加算額となり、(一)死亡した人に老齢基礎年金が受けられる資格期間があること。年金額は、子のある妻の場合：妻に七十万二千円、第一子・第二子には一人につき二十万二千四百円、第三子からは一人につき六万七千五百円。子のみの場合：第一子七十万二千円、第二子・第三子からは子のある妻と同様の加算額となります。

加算額となり、(一)死亡した人に老齢基礎年金が受けられる資格期間があること。年金額は、子のある妻の場合：妻に七十万二千円、第一子・第二子には一人につき二十万二千四百円、第三子からは一人につき六万七千五百円。子のみの場合：第一子七十万二千円、第二子・第三子からは子のある妻と同様の加算額となります。

# 今帰仁村第二次総合計画基本構想

## 「むらづくりアンケート」の調査結果から①

本村では、今帰仁村第二次総合計画基本構想策定のため、平成3年9月に村民(全世帯)、10月に郷友会(225人)の皆様、21世紀を展望した「むらづくりアンケート」を行いました。

その結果、村民からは1,331票(回収率51.1%)、郷友会からは91票(回収率43.5%)の有効票が、回収されました。以下に、それらの結果概要を、2・3回に分けてお知らせ致します。

1. 村民の居住性とむらづくりの課題について(村民)  
村内での「住みよさ」についてみると、「住みよい」と答えている人が74%で約3/4を占め、「いいえ」がわずか5%、そして「どちらともいえない」が、20%を示しています。(表-1参照)

表-1 居住性(%)

合計	はい	いいえ	どちらともいえない	不明
100	74	5	20	1

「住みよい」の理由としては、「生まれたところ」が46%、「自然に恵まれている」が38%と高く、一方

「住みよとは言えない」の理由としては、「教育施設が少なく子供を育てるのに不安」が26%、「買物などの生活の便利が悪い」が19%、「レクリエーション・文化・福祉施設等が少ない」が15%と高くなっています。(表-2、3参照) 表-2 はいの理由(%)

合計	生まれたところ	自然に恵まれている	周囲の人が親切	生活の安定	その他	不明
100	46	38	7	6	1	2

表-3 いいえの理由(%)

合計	レク・文化福祉施設が少ない	教育施設が少ない	生活環境の破壊	生活の利便が悪い	交通の利便が悪い	職場が遠い	その他	不明
100	15	26	11	19	6	8	14	1

また、地域の「安全・安心の面」での課題としては、「街灯が少ない」(52%)、「病院が遠い」(39%)「集落内の交通安全」(29%)が高く、「快適・利便性」の課題としては、「下水・排水路の整備」(45%)、「海域・河川の汚染防止」(41%)、「ゴミ・し尿の処

表-4 安全・安心の課題(%)

合計(人)	病院が遠い	街灯が少ない	集落内の交通安全	空き家の対策	火災時の不安	浸水・地すべり等の不安	その他	特になし	不明
1331	39	52	29	7	9	4	2	6	13

表-5 快適・利便性の課題(%)

合計(人)	海・石川の汚染防止	ゴミ・し尿の処理	下水・排水路の整備	宅地の拡大・充実	公園・広場の整備	交通の便	日常の買い物	バス利用の便	その他	特になし	不明
133	41	38	45	11	30	12	11	13	1	4	13

表-6 活力性の課題(%)

合計(人)	青年層の活力向上	自治会等の活動強化	地場産業の振興	新しい産業の導入	地域・他市町村交流	行政懇談会の充実	サークル活動の充実	青年・婦人・老人等の組織強化	その他	特になし	不明
1331	47	8	38	35	12	13	15	21	1	5	19

理」(38%)、「公園・広場の整備」(30%)が高く、さらに「活力ある地域づくり」の課題としては、「青年層の活力向上」(47%)、「地場産業の振興」(38%)「新しい産業の導入」(35%)が、それぞれ高くなっています。(表-4、5、6参照)



集落懇談会の様子

2. 地域の変化と地域のよさについて(村民、郷友会)  
本村の変わりつつある要因について、たずねてみると、村民、郷友会ともに上位3位は同じで、「道路が良くなってきた」、「農林水産業の基盤整備が進んできた」、

表-7 村の変化の要因(%)

	合計(人)	道路が良くなった	村の姿が新しくなった	基盤整備が進んだ	村民利用施設が増えた	住人の変化	中心商店街の活性化	若い人の活躍	観光関連施設の増加	自然環境の悪化	働く場所が増えた	その他	わからない	不明
村民	1331	73	11	39	28	6	4	12	28	24	7	1	-	7
郷友会	91	87	10	45	39	4	1	11	30	18	3	-	3	1

「村民の利用する施設が増えた」となっています。(表-7参照)。一方、比率の低い項目としては、「中心商店街の活性化」、「住む人の変化」、「働く場所の増加」などとなっています。

また、「地域のよさ」としては、村民、郷友会ともに「静けさや安らぎ」、「緑が多く自然環境がよい」、「人情味がある」がそれぞれ上位3位となっています。さらに村民では、「子供や老人にも安全な環境である」(34%)、郷友会では、「集落景観がよい」(39%)と

表-8 地域のよさ(%)

	合計(人)	集落景観	静けさ・安らぎ	活気	人情味	自然環境	安全な環境	買い物の便	伝統文化の保存	文化活動施設が身近	交通の便	医療機関の利便性	働く場が多い	その他	わからない	不明
村民	1331	22	55	3	39	47	34	10	16	6	8	3	1	1	-	6
郷友会	91	39	65	2	57	63	15	-	20	4	3	-	-	-	3	1

続いています。(表-8参照)  
一方、地域のよさとして評価の低い項目は、「働く場所」、「活気」、「医療機関の利便性」、「スポーツや文化活動施設」、「交通の便」、「買い物の利便性」などがあげられています。



婦人部設立により商工業の一層の発展が期待される

総会は「婦人部の歌」の斉唱で始まり、第一号議案「婦人部運営規定の承認」、第二号議案「事業計画及び予算書の承認」、第三号議案「役員選出」の各議案が全会一致で承認になりました。

さわやかな笑顔であいさつに立った當山弘子部長は「古の絶世の美人として名高い志慶真乙樽の「へ心美人」「へ姿美人」に少しづつ近づけて行けるように自己研鑽を積み、女性特有のソフトな魅力を發揮しながら活動し、事業を推進していきたいと思えます」と抱負を述べていました。

引き続き、来賓の上間博安村長、山城正議会議長の祝辞

# 足もとを見つめ 豊かな地域づくりを

## 商工会が婦人部設立

今帰仁村商工会婦人部設立総会が、十二月十三日午後三時から商工会館で開かれました。総会には、四十五名の婦人や商工会役員が参加しました。

沖繩県下では、すでに二十九の商工会が婦人部を組織しており、今帰仁村は三十番目となります。

婦人部は「自己研鑽と会員相互の連携強化を進め、商工会の事業に積極的に協力し、地域経済の振興発展に努める」目的で設立されました。

## 小・中学生の剣士参加 青少年剣道選手権大会



出場者全員竹刀を手にコテ、メン、ドー

第七回今帰仁村少年剣道選手権大会（主催・村体育協会）が、十二月二十一日午後一時より今帰仁小学校校体育館で行われました。大会には、小学生三十八人、中学生四人が出場しました。

小学生の二・三級、五級、六級、八級、九級、十級の各部と中学生の部で日ごろの練習の成果を競いました。「メーン」「ドー」の力強いかけ声

がありました。その後、懇親会が行われ、なごやかな雰囲気の中に会話が弾んでいました。

声会場いっばい響かなか熱戦が繰り広げられた結果、各部門の優勝、準優勝は次の選手に決まりました。

- ◆二・三級の部
  - ☆優勝—内間 貴之(兼次小)
  - ☆準優勝—津山嘉都真(兼次小)
- ◆五級の部
  - ☆優勝—島袋雅史(兼次小)
  - ☆準優勝—仲宗根幹(湧川小)
- ◆六級の部
  - ☆優勝—松田悠子(今帰仁小)
  - ☆準優勝—大嶺絢子(今帰仁小)
- ◆八級の部
  - ☆優勝—内間祐介(兼次小)
  - ☆準優勝—与儀実彦(天底小)
- ◆九級の部
  - ☆優勝—玉城 梓(今帰仁小)
  - ☆準優勝—許田成美(本部町)
- ◆十級の部
  - ☆優勝—上間 憲(今帰仁小)
  - ☆準優勝—許田祥子(本部町)
- ◆中学生の部
  - ☆優勝—伊豆味小)
  - ☆優勝—仲宗根光(湧川中)
  - ☆準優勝—沢岷盛也(湧川中)

# 2月/如月

## 村民カレンダー

1992年



2/1 土	○『第15回リゾート大学沖縄酒田村』 歓迎の夕べ(18:30コミセン) ○新春もちつき大会(14:00~コミセン)	17 月	○三歳児健診(13:00~14:00コミセン) ○デイサービス(9:00~17:00コミセン) ○幼児ことばの教室(9:00~12:00コミセン)
2 日	○『第15回リゾート大学沖縄酒田村』 一行観光地周遊	18 火	○手話サークル勉強会(19:30~20:30コミセン) ○幼児ことばの教室(9:00~12:00コミセン)
3 月	○一歳六か月児健診(13:00~14:00コミセン) ○デイサービス(9:00~17:00コミセン) ○幼児ことばの教室(9:00~12:00コミセン)	19 水	○心配ごと相談(13:00~17:00コミセン) ○デイサービス(9:00~17:00コミセン) ○幼児ことばの教室(9:00~12:00コミセン)
4 火	○手話サークル勉強会(19:30~20:30コミセン) ○幼児ことばの教室(9:00~12:00コミセン)	20 木	○幼児ことばの教室(9:00~12:00コミセン)
5 水	○心配ごと相談(13:00~17:00コミセン) ○デイサービス(9:00~17:00コミセン) ○幼児ことばの教室(9:00~12:00コミセン)	21 金	○デイサービス(9:00~17:00コミセン) ○幼児ことばの教室(9:00~12:00コミセン)
6 木	○幼児ことばの教室(9:00~12:00コミセン)	22 土	○リサイクルの日(14:00~16:00各字公民館) ○おもちゃ図書館(9:00~12:00コミセン)
7 金	○デイサービス(9:00~17:00コミセン) ○幼児ことばの教室(9:00~12:00コミセン)	23 日	○第8回村社会教育振興大会(9:30~コミセン) ○第1回村健康まつり(9:30~コミセン)
8 土	○おもちゃ図書館(9:00~12:00コミセン)	24 月	○デイサービス(9:00~17:00コミセン) ○幼児ことばの教室(9:00~12:00コミセン)
9 日	○第22回少年少女ミニバスケット大会 (8:30~湧川小中体育館)	25 火	○手話サークル勉強会(19:30~20:30コミセン) ○幼児ことばの教室(9:00~12:00コミセン)
10 月	○子豚セリ市(13:00~家畜せり市場) ○デイサービス(9:00~17:00コミセン) ○幼児ことばの教室(9:00~12:00コミセン)	26 水	○心配ごと相談(13:00~17:00コミセン) ○デイサービス(9:00~17:00コミセン) ○子豚セリ市(13:00~家畜せり市場)
11 火	○手話サークル勉強会(19:30~20:30コミセン) ○幼児ことばの教室(9:00~12:00コミセン) ○建国記念の日	27 木	○幼児ことばの教室(9:00~12:00コミセン)
12 水	○心配ごと相談(13:00~17:00コミセン) ○デイサービス(9:00~17:00コミセン) ○幼児ことばの教室(9:00~12:00コミセン)	28 金	○デイサービス(9:00~17:00コミセン) ○幼児ことばの教室(9:00~12:00コミセン)
13 木	○幼児ことばの教室(9:00~12:00コミセン)	29 土	○おもちゃ図書館(9:00~12:00コミセン)
14 金	○デイサービス(9:00~17:00コミセン) ○幼児ことばの教室(9:00~12:00コミセン) ○聖バレンタインデー	3/1 日	○村育英会育英資金貸し付け受け付け(1~31日) ○春期火災予防運動(1~7日)
15 土	○第4回沖縄一周駅伝大会 ○おもちゃ図書館(9:00~12:00コミセン)	2 月	○デイサービス(9:00~17:00コミセン) ○幼児ことばの教室(9:00~12:00コミセン)
16 日	○第11回村軟式庭球選手権大会(9:30~北山高校) ○第4回沖縄一周駅伝大会 ○牛のセリ市(11:00~家畜せり市場)	3 火	○ひな祭り ○耳の日

り情熱家の一面を見せていた。村づくりを推進したい」と語

者から好評を得た。会長は「今

踊が披露され、二百人余の出席

三輪国子仲宗根区長の琉球舞

林流七段の空手演武と歌、

区長会からは、照屋会長(小

内のホテルで催された。

会」が、一月十九日、名護市

の「新年会並びに舞台発表

の「一色晴香師範主宰」の初め

織する日本舞踊「邑流(写真

その区長会が、後援会を組

会」の上映といろいろ。

ドによる「むかし今帰仁映写

ス宣教師撮影のカラースライ

に新しいメルビン・ハッキン

ンドゴルフ大会の開催。記憶

マレーシア、中国、シンガポ

れに国内における研修。グラ

運天港就航記念交流会(伊平

屋村)、中国、シンガポ

マレーシア、中国、シンガポ

している。フェリー伊平屋の

行政に加え、各種活動を展開

長・波嘉仁区長)では、字の

長・波嘉仁区長)では、字の

今帰仁村区長会(照屋昇会

編集後記

今帰仁村区長会(照屋昇会  
長・波嘉仁区長)では、字の  
行政に加え、各種活動を展開  
している。フェリー伊平屋の  
運天港就航記念交流会(伊平  
屋村)、中国、シンガポ  
マレーシア、中国、シンガポ  
れに国内における研修。グラ  
ンドゴルフ大会の開催。記憶  
に新しいメルビン・ハッキン  
ドによる「むかし今帰仁映写  
会」の上映といろいろ。  
その区長会が、後援会を組  
織する日本舞踊「邑流(写真  
の「一色晴香師範主宰」の初め  
の「新年会並びに舞台発表  
会」が、一月十九日、名護市  
内のホテルで催された。